

平成 19 年（2007 年）の北海道地方の火山活動

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

各火山の 2007 年の活動概況

知床硫黄山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

羅臼岳

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

摩周

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

アトサヌプリ

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

雌阿寒岳

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

丸山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

大雪山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

十勝岳

62-2 火口では 2006 年 1 月以降、噴煙活動及び火口温度に低下傾向が見られ、熱活動は次第に低下し、2007 年 2 月以降は静穏な状況で経過しました。

6 月の火口付近での GPS 観測で、62-2 火口付近のわずかな膨張を示すと考えられる基線の伸びが観測されましたが、その後この傾向は見られていません。また、7 月に振幅の小さな火山性微動が観測されましたが、この前後でも火山性地震の増加は見られませんでした。

利尻山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

この資料は、札幌管区気象台火山監視・情報センターが 1 年間の火山活動状況について取りまとめた資料で、札幌管区気象台のホームページ (<http://www.sapporo-jma.go.jp>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

※この資料は気象庁のほか、第一管区海上保安本部、北海道大学、独立行政法人産業技術総合研究所、独立行政法人防災科学技術研究所、北海道、北海道立地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』『数値地図 10m メッシュ (火山標高)』を使用しています (承認番号 平 17 総使、第 503 号)。
資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50000 (地図画像)』『数値地図 25000 (地図画像)』を複製しています。(承認番号 平 17 総復、第 650 号)

樽前山

A 火口および B 噴気孔群では高温状態が続いていました。

恵庭岳

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

倶多楽

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

有珠山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

羊蹄山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

ニセコ

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

恵山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

渡島大島

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

上記以外の活火山については、火山活動に特段の変化はありませんでした。